

アメリカコハクチョウ（カモ科） 全長 120 センチ

北アメリカで繁殖し、日本には稀に渡来する数少ない冬鳥。コハクチョウと似ているが、嘴の大部分が黒く目の前に小黄色班があり区別されます。

1月7日、真冬の雄物川の岸辺で3羽のアメリカコハクチョウが休んでいた。過去に何回もアメリカコハクチョウを観察してきたが、嘴がこれほど黒い個体は初めてです。

倍率の高いフィールドスコープで覗くと、黒っぽい嘴の基部に僅かな黄色い斑点があり、アメリカコハクチョウと分かった。



流れの緩やかな岸辺で休んでいた。

かつて100羽ほどのコハクチョウの群れの中に、2羽のアメリカコハクチョウが混じっているのを観察した時でした。

この2羽は、コハクチョウの中に入っても離れることなくいつも一緒です。とても仲間意識が強いのでしょうか。



右の個体は嘴がほぼ黒い。



嘴の基部に、僅かな黄色い斑点がある。

これから3月に入り雪解けが進むと、秋田県よりも南で越冬したハクチョウ類は渡りの途中に大きな群れとなり田んぼに降り立ちます。

この機会を狙って、アメリカコハクチョウを探してみるのも楽しみの一つです。



流れてきた草の塊を啄ばんでいた。



2015年に撮影。右2番目がアメリカコハク
チョウ。3羽はコハクチョウ。